

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2002年2月5日設定）	
運用方針	三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、わが国を除く世界主要国の公社債への分散投資により、信託財産の長期的な成長をめざします。 （ファンドにおいてわが国を除く世界主要国の公社債とは、国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債（複数国が協調して設立した国際的な組織が発行する債券）、社債等を指します。）実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	マザーファンド	わが国を除く世界主要国の公社債（国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債、社債等）を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資に制限を設けません。
分配方針	毎年4回決算（原則として3、6、9、12月の各15日。ただし、15日が休業日の場合は翌営業日とします。）を行い、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ 海外債券オープン
（3ヵ月決算型）

愛称：四季の恵み（海外債券）

第82期（決算日：2022年9月15日）

第83期（決算日：2022年12月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ 海外債券オープン（3ヵ月決算型）」は、去る12月15日に第83期の決算を行いましたので、法令に基づいて第82期～第83期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			FTSE世界国債インデックス (除く日本・円ベース)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 騰 落	期 中 騰 落 中 率	期 中 騰 落 中 率				
	円	円	円	%		%	%	%	百万円
74期(2020年9月15日)	10,553		50	2.7	496.02	2.3	98.0	—	11,803
75期(2020年12月15日)	10,532		55	0.3	497.78	0.4	95.3	—	11,818
76期(2021年3月15日)	10,507		50	0.2	500.79	0.6	96.2	—	11,825
77期(2021年6月15日)	10,635		55	1.7	512.01	2.2	96.2	—	12,115
78期(2021年9月15日)	10,468		50	△1.1	510.96	△0.2	96.8	—	12,015
79期(2021年12月15日)	10,518		50	1.0	515.51	0.9	95.8	—	12,117
80期(2022年3月15日)	10,155		50	△3.0	499.10	△3.2	94.6	—	11,707
81期(2022年6月15日)	10,308		45	1.9	505.90	1.4	92.2	—	11,851
82期(2022年9月15日)	10,712		50	4.4	529.24	4.6	94.3	—	12,338
83期(2022年12月15日)	10,304		55	△3.3	514.59	△2.8	93.8	—	11,882

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		FTSE世界国債インデックス (除く日本・円ベース)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		円	騰 落 率	騰 落 率	%		
第82期	(期 首) 2022年6月15日	10,308	—	505.90	—	92.2	—
	6月末	10,647	3.3	527.33	4.2	94.0	—
	7月末	10,729	4.1	528.62	4.5	95.0	—
	8月末	10,600	2.8	523.32	3.4	93.2	—
	(期 末) 2022年9月15日	10,762	4.4	529.24	4.6	94.3	—
第83期	(期 首) 2022年9月15日	10,712	—	529.24	—	94.3	—
	9月末	10,434	△2.6	516.03	△2.5	90.2	—
	10月末	10,729	0.2	531.09	0.4	90.1	—
	11月末	10,385	△3.1	516.24	△2.5	95.1	—
	(期 末) 2022年12月15日	10,359	△3.3	514.59	△2.8	93.8	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

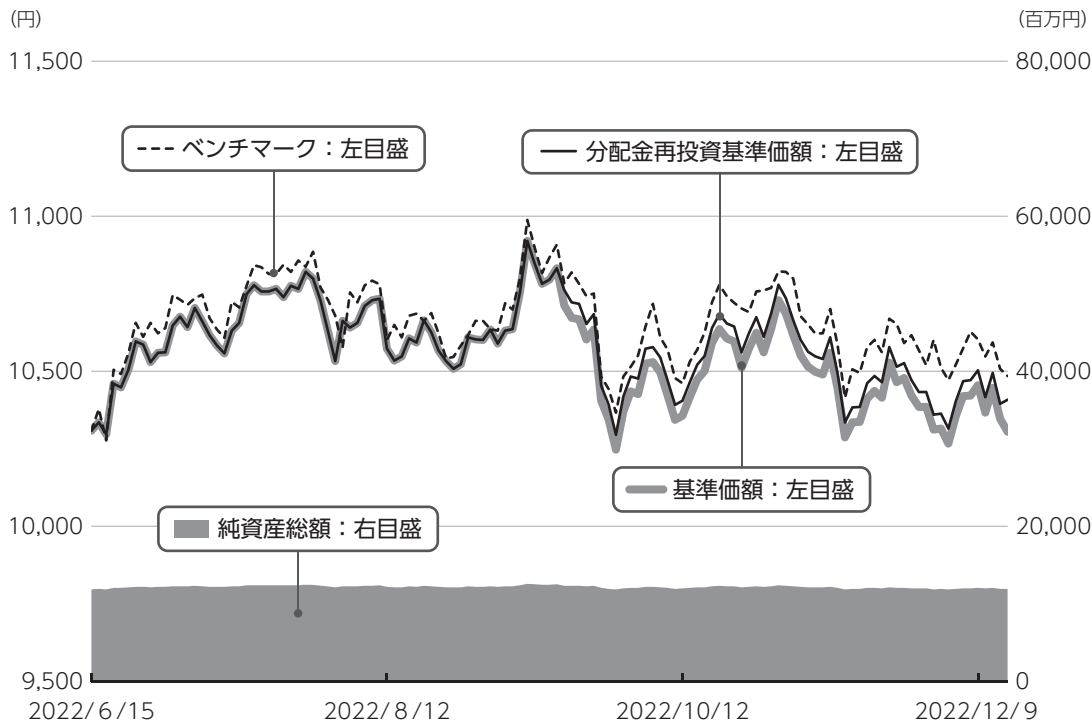
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第82期～第83期：2022年6月16日～2022年12月15日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第82期首	10,308円
第83期末	10,304円
既払分配金	105円
騰落率	1.0%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ1.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（1.7%）を0.7%下回りました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

米ドル、ユーロが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米欧の長期金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第82期～第83期：2022年6月16日～2022年12月15日

投資環境について

▶ 海外債券市況

米独長期金利は上昇しました。

米独長期金利は、世界的なインフレ上昇を受けて米国を中心に複数の国で積極的な金融引き締め観測が高まったことなどから、当作成期首から2022年10月にかけて上昇しました。その後、米国の消費者物価指数（CPI）の伸びが市場予想を下回ったことなどを背景に、金融引き締めペースの減速期待が高まったことな

どから、米独長期金利は低下しました。結果、当作成期を通じて見ると、米独長期金利は上昇しました。

▶ 為替市況

米ドル、ユーロは対円で上昇しました。

日銀が緩和的な金融政策を維持する中、米独長期金利の上昇により本邦との金利差が拡大したことなどから、米ドル・ユーロは対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ 海外債券オープン（3ヵ月決算型）

三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を通じて、わが国を除く世界主要国の公社債に投資をしています。債券の実質組入比率は、運用の基本方針にしたがい高位に維持しました。

▶ 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークを中長期的に上回る投資成果をめざして運用を行いました。当作成期を通じて債券の組入比率は高位を維持しました。債券デュレーション（平均回収期間や金

利感応度）は、金融政策の織り込み具合等を注視しコントロールしました。米国の債券デュレーションは当作成期首から2022年6月中旬にかけてはベンチマーク比短め、6月下旬から9月下旬にかけては同中立から長めでコントロールし、その後は同短めとしました。欧州の債券デュレーションは当作成期首から6月中旬にかけては同長め、6月下旬から7月上旬にかけて同短め、その後は同長めとしました。

欧州においては、欧州中央銀行（ECB）の金融政策などを背景に国別配分をコントロールしました。フランスは当作成期首から10月にかけてベンチマーク比アンダーウェイトとし、その後は同中立

からオーバーウェイトでコントロールしました。スペインは当作成期首から11月にかけて同中立からアンダーウェイトでコントロールし、その後は同オーバーウェイトとしました。また、当作成期を通じてドイツ、イタリア、オランダ、ベルギーを同中立からアンダーウェイトでそれぞれコントロールしました。

カントリーアロケーション戦略（通貨配分）では、景気の相対感等に着目し通貨配分をコントロールしました。米ドルは当作成期首から11月上旬にかけてベンチマーク比オーバーウェイトとし、その後は同中立からアンダーウェイトでコント

ロールしました。ユーロは当作成期首から11月にかけて同アンダーウェイトとし、その後は同オーバーウェイトとしました。中国元は当作成期首から10月にかけては同中立からオーバーウェイトでコントロールし、その後は同アンダーウェイトとしました。また、当作成期を通じてシンガポールドル、メキシコペソは同オーバーウェイトで維持し、カナダドル、豪ドル、スウェーデンクローナ、ノルウェークローネは同中立からオーバーウェイト、英ポンドは同中立からアンダーウェイトでそれぞれコントロールしました。

第82期～第83期：2022/6/16～2022/12/15

当該投資信託のベンチマークとの差異について

▶ 三菱UFJ 海外債券オープン（3ヵ月決算型）

ファンドの騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）の騰落率（1.7%）を0.7%下回りました。

マザーファンド保有以外の要因

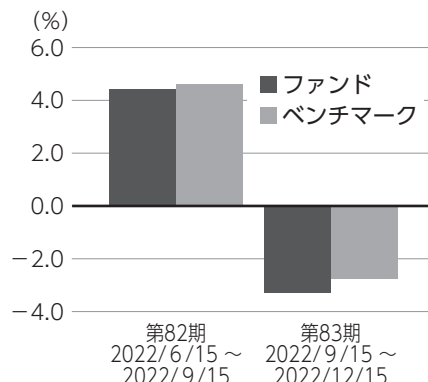
信託報酬等の費用がマイナスに影響しました。

マザーファンド保有による要因

マイナス要因

2022年8月以降、イタリアをベンチマーク比アンダーウェイトとしていたことなどがマイナス要因となりました。

基準価額（ベビーファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第82期 2022年6月16日～2022年9月15日	第83期 2022年9月16日～2022年12月15日
当期分配金（対基準価額比率）	50 (0.465%)	55 (0.531%)
当期の収益	50	26
当期の収益以外	－	28
翌期繰越分配対象額	2,269	2,240

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶三菱UFJ 海外債券オープン（3ヵ月決算型）

三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

▶三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

金利戦略においては、各国の景気動向に加え、財政政策・金融政策を含む各種政策や市場の内部要因が長期金利へ与える

影響を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。その中で、欧州では各国の財政状況や政策対応などを重視した銘柄選別に注力します。また、カンントリーアロケーション戦略においては、各国のファンダメンタルズ状況や投資家のリスク選好度を重視し、環境見通しの変化に対応して調整を行う方針です。債券の組入比率は高位を維持し、信用力の高い国債中心の組み入れを維持する方針です。

2022年6月16日～2022年12月15日

1万口当たりの費用明細

項目	第82期～第83期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	64	0.607	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(32)	(0.303)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(29)	(0.276)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.012	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.010)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	65	0.619	

作成期中の平均基準価額は、10,559円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

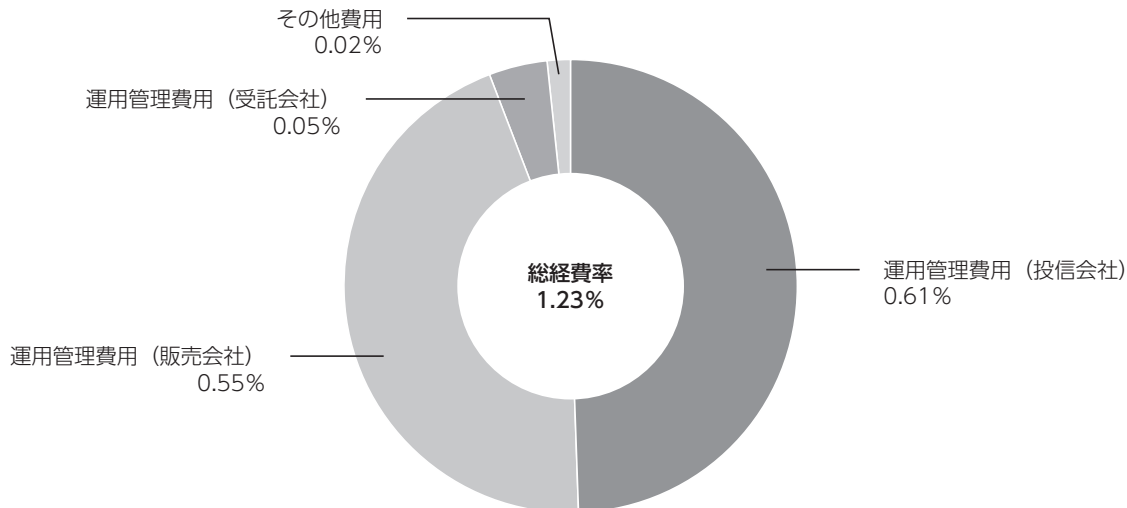
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.23%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年6月16日～2022年12月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第82期～第83期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	75,518	260,340	120,993	418,226

○利害関係人との取引状況等

(2022年6月16日～2022年12月15日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ 海外債券オープン（3ヵ月決算型）>

該当事項はございません。

<三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド>

区 分	第82期～第83期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	18,477	6,456	34.9	20,528	9,702	47.3

平均保有割合 25.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年12月15日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第81期末		第83期末	
	口 数		口 数	評 価 額
	千口		千口	千円
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	3,530,093		3,484,619	11,853,629

○投資信託財産の構成

(2022年12月15日現在)

項 目	第83期末	
	評 価 額	比 率
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	11,853,629	98.9
コール・ローン等、その他	134,767	1.1
投資信託財産総額	11,988,396	100.0

(注) 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（47,038,842千円）の投資信託財産総額（47,194,500千円）に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=135.48円	1 カナダドル=100.04円	1 メキシコペソ=6.9015円	1 ユーロ=144.71円
1 イギリスポンド=168.32円	1 スウェーデンクローネ=13.34円	1 ノルウェークローネ=13.92円	1 ポーランドズロチ=30.9148円
1 オーストラリアドル=93.05円	1 シンガポールドル=100.58円	1 マレーシアリンギット=30.7608円	1 中国元=19.4841円
1 イスラエルシェケル=39.7796円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第82期末	第83期末
	2022年9月15日現在	2022年12月15日現在
(A) 資産	12,438,520,526 円	11,988,396,724 円
コール・ローン等	66,331,087	65,838,715
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド(評価額)	12,308,611,004	11,853,629,142
未収入金	63,578,435	68,928,867
(B) 負債	99,784,788	105,582,323
未払収益分配金	57,594,747	63,429,609
未払解約金	4,711,659	5,518,314
未払信託報酬	37,345,940	36,504,858
未払利息	68	146
その他未払費用	132,374	129,396
(C) 純資産総額(A-B)	12,338,735,738	11,882,814,401
元本	11,518,949,599	11,532,656,277
次期繰越損益金	819,786,139	350,158,124
(D) 受益権総口数	11,518,949,599口	11,532,656,277口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,712円	10,304円

○損益の状況

項 目	第82期	第83期
	2022年6月16日～ 2022年9月15日	2022年9月16日～ 2022年12月15日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 3,135	△ 8,536
受取利息	18	9
支払利息	△ 3,153	△ 8,545
(B) 有価証券売買損益	555,864,918	△ 367,189,384
売買益	560,372,129	2,906,611
売買損	△ 4,507,211	△ 370,095,995
(C) 信託報酬等	△ 37,478,314	△ 36,634,254
(D) 当期損益金(A+B+C)	518,383,469	△ 403,832,174
(E) 前期繰越損益金	△ 421,782,048	38,515,917
(F) 追加信託差損益金	780,779,465	778,903,990
(配当等相当額)	(2,156,120,513)	(2,165,093,984)
(売買損益相当額)	(△1,375,341,048)	(△1,386,189,994)
(G) 計(D+E+F)	877,380,886	413,587,733
(H) 収益分配金	△ 57,594,747	△ 63,429,609
次期繰越損益金(G+H)	819,786,139	350,158,124
追加信託差損益金	780,779,465	778,903,990
(配当等相当額)	(2,156,222,253)	(2,165,246,085)
(売買損益相当額)	(△1,375,442,788)	(△1,386,342,095)
分配準備積立金	457,953,284	418,877,493
繰越損益金	△ 418,946,610	△ 847,623,359

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 11,497,707,763円
 作成期中追加設定元本額 312,034,854円
 作成期中一部解約元本額 277,086,340円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.0304円です。

②分配金の計算過程

項 目	2022年6月16日～ 2022年9月15日	2022年9月16日～ 2022年12月15日
費用控除後の配当等収益額	58,291,348円	30,115,466円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円
収益調整金額	2,156,222,253円	2,165,246,085円
分配準備積立金額	457,256,683円	452,191,636円
当ファンドの分配対象収益額	2,671,770,284円	2,647,553,187円
1万口当たり収益分配対象額	2,319円	2,295円
1万口当たり分配金額	50円	55円
収益分配金金額	57,594,747円	63,429,609円

○分配金のお知らせ

	第82期	第83期
1万口当たり分配金（税込み）	50円	55円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

《第23期》決算日2022年12月15日

[計算期間：2021年12月16日～2022年12月15日]

「三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド」は、12月15日に第23期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第23期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<p>FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果をめざします。</p> <p>運用にあたっては、各国のマクロ分析や金利予測に基づいて、カントリーアロケーション、デュレーションおよび残存構成のコントロール、利回り較差に着目した銘柄選択でアクティブに超過収益の獲得をめざします。さらに、ポートフォリオとベンチマークを比較分析することにより、リスクのチェックとコントロールを行います。</p> <p>組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。ただし、エクスポージャーのコントロール等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。</p> <p>公社債の組入比率は高位（通常の状態では90%以上）を基本とします。</p> <p>（ファンドにおいてわが国を除く世界主要国の公社債とは、国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債（複数国が協調して設立した国際的な組織が発行する債券）、社債等を指します。）</p>
主要運用対象	わが国を除く世界主要国の公社債（国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債、社債等）を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE世界国債インデックス (除く日本・円ベース)		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	期騰落	率	期騰落	率			
19期(2018年12月17日)	円	%		%	%	%	百万円
19期(2018年12月17日)	29,150	△2.6	453.56	△2.0	96.4	—	45,158
20期(2019年12月16日)	30,690	5.3	472.22	4.1	95.6	—	44,475
21期(2020年12月15日)	32,650	6.4	497.78	5.4	95.5	—	46,828
22期(2021年12月15日)	33,655	3.1	515.51	3.6	96.0	—	48,104
23期(2022年12月15日)	34,017	1.1	514.59	△0.2	94.0	—	47,121

(注) FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価 額		FTSE世界国債インデックス (除く日本・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
	騰 落 率	率	騰 落 率	率			
(期 首) 2021年12月15日	円	%	(除く日本・円ベース)	%	%	%	%
	33,655	—	515.51	—	96.0	—	—
12月末	33,796	0.4	516.73	0.2	97.0	—	—
2022年1月末	33,246	△1.2	507.46	△1.6	96.7	—	—
2月末	32,660	△3.0	500.36	△2.9	95.0	—	—
3月末	33,856	0.6	514.02	△0.3	95.5	—	—
4月末	34,018	1.1	514.17	△0.3	93.7	—	—
5月末	33,792	0.4	512.00	△0.7	94.9	—	—
6月末	34,612	2.8	527.33	2.3	94.2	—	—
7月末	34,913	3.7	528.62	2.5	95.3	—	—
8月末	34,528	2.6	523.32	1.5	93.4	—	—
9月末	34,178	1.6	516.03	0.1	90.5	—	—
10月末	35,185	4.5	531.09	3.0	90.3	—	—
11月末	34,087	1.3	516.24	0.1	95.4	—	—
(期 末) 2022年12月15日	34,017	1.1	514.59	△0.2	94.0	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

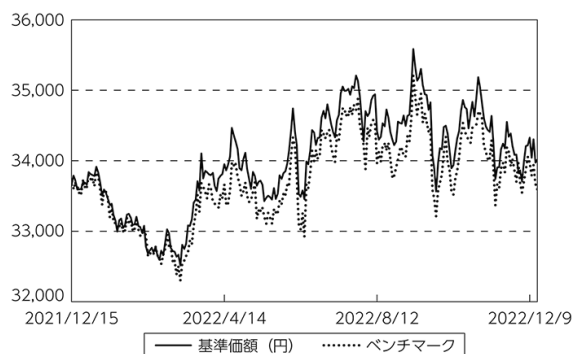
◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.1%の上昇となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(−0.2%)を1.3%上回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

● 基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

米ドルが対円で上昇したことや債券利子収入を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

米欧の長期金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

● 投資環境について

◎ 海外債券市況

- ・米独長期金利は上昇しました。
- ・米独長期金利は、世界的なインフレ上昇を受けて米国を中心に複数の国で積極的な金融引き締め観測が高まったことなどから、期首から2022年10月にかけて上昇しました。その後、米国の消費者物価指数（CPI）の伸びが市場予想を下回ったことなどを背景に、金融引き締めペースの減速期待が高まったことなどから、米独長期金利は低下しました。結果、期を通じて見ると、米独長期金利は上昇しました。

◎ 為替市況

- ・米ドル、ユーロは対円で上昇しました。
- ・日銀が緩和的な金融政策を維持する中、米独長期金利の上昇により本邦との金利差が拡大したことなどから、米ドル・ユーロは対円で上昇しました。

● 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークを中長期的に上回る投資成果をめざして運用を行いました。期を通じて債券の組入比率は高位を維持しました。
- ・債券デュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、金融政策の織り込み具合等を注視しコントロールしました。米国の債券デュレーションは期首から2022年6月中旬にかけてはベンチ

マーク比短め、6月下旬から9月下旬にかけては同中立から長めでコントロールし、その後は同短めとしました。欧州の債券デュレーションは期首から6月中旬にかけては同長め、6月下旬から7月上旬にかけて同短め、その後は同長めとしました。

- ・欧州においては、欧州中央銀行（ECB）の金融政策などを背景に国別配分をコントロールしました。イタリアは期首から7月下旬にかけてベンチマーク比中立からオーバーウェイトでコントロールし、その後は同アンダーウェイトとしました。フランスは期首から10月にかけて同アンダーウェイトとし、その後は同中立からオーバーウェイトでコントロールしました。スペインは期首から2月上旬にかけては同オーバーウェイト、2月中旬から11月にかけては同中立からアンダーウェイトでコントロールし、その後は同オーバーウェイトとしました。また、期を通じてドイツ、オランダ、ベルギーを同中立からアンダーウェイトでそれぞれコントロールしました。
- ・カントリーアロケーション戦略（通貨配分）では、景気の相対感等に着目し通貨配分をコントロールしました。米ドルは期首から1月上旬にかけてはベンチマーク比オーバーウェイト、1月中旬から4月下旬にかけては同中立からアンダーウェイトでコントロールし、5月から11月上旬にかけては同オーバーウェイト、その後は同中立からアンダーウェイトでコントロールしました。ユーロは期首から11月にかけて同アンダーウェイトとし、その後は同オーバーウェイトとしました。中国元は期首から10月にかけては同中立からオーバーウェイトでコントロールし、その後は同アンダーウェイトとしました。英ポンドは期首から6月中旬にかけては同中立からオーバーウェイトでコントロールし、その後は同中立からアンダーウェイトでコントロールしました。また、期を通じてカナダドル、豪ドル、シンガポールドル、スウェーデンクローナ、ノルウェークローネ、メキシコペソは同中

立からオーバーウェイトでそれぞれコントロールしました。

●当該投資信託のベンチマークとの差異について
(プラス要因)

- ・期首から2022年4月にかけて、中国元をベンチマーク比オーバーウェイトとしていたことなどがプラス要因となりました。

○今後の運用方針

- ・金利戦略においては、各国の景気動向に加え、財政政策・金融政策を含む各種政策や市場の内部要因が長期金利へ与える影響を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。その中で、欧州では各国の財政状況や政策対応などを重視した銘柄選別に注力します。また、カントリーアロケーション戦略においては、各国のファンダメンタルズ状況や投資家のリスク選好度を重視し、環境見通しの変化に対応して調整を行う方針です。債券の組入比率は高位を維持し、信用力の高い国債中心の組み入れを維持する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年12月16日～2022年12月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(7)	(0.021)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	7	0.021	
期中の平均基準価額は、33,995円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年12月16日～2022年12月15日)

公社債

		買付額	売付額	
外	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 148,323	千アメリカドル 157,842 (11,000)
		社債券	—	— (4,000)
	カナダ	国債証券	千カナダドル 17,853	千カナダドル 17,360
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 263,259	千メキシコペソ 109,294 (10,000)
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	56,908	34,849
	イタリア	国債証券	2,289	28,695
	フランス	国債証券	49,246	24,322
	オランダ	国債証券	2,679	3,881
	スペイン	国債証券	13,776	9,988
ベルギー	国債証券	5,536	2,878	
アイルランド	国債証券	100	1,966	
国	イギリス	国債証券	千イギリスポンド 25,935	千イギリスポンド 28,073
		特殊債券	—	2,380
	スウェーデン	国債証券	千スウェーデンクローネ 37,371	千スウェーデンクローネ 37,569
	ノルウェー	国債証券	千ノルウェークローネ 99,680	千ノルウェークローネ 97,999
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ 1,779	千ポーランドズロチ 4,779
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 45,721	千オーストラリアドル 52,168
		特殊債券	—	4,333
	シンガポール	国債証券	千シンガポールドル 19,717	千シンガポールドル 5,588
	マレーシア	国債証券	千マレーシアリングギット —	千マレーシアリングギット — (1,500)
	中国	国債証券	千中国元 147,486	千中国元 247,860
	イスラエル	国債証券	千イスラエルシェケル 1,004	千イスラエルシェケル — (1,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年12月16日～2022年12月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 36,450	百万円 10,069	% 27.6	百万円 38,051	百万円 12,175	% 32.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年12月15日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 160,000	千アメリカドル 151,869	千円 20,575,269	% 43.7	% —	% 19.9	% 11.5	% 12.3
カナダ	千カナダドル 10,900	千カナダドル 10,191	1,019,553	2.2	—	1.2	0.1	0.9
メキシコ	千メキシコペソ 335,000	千メキシコペソ 323,160	2,230,289	4.7	—	3.0	1.5	0.2
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	20,000	21,585	3,123,594	6.6	—	4.6	2.0	—
イタリア	15,800	13,696	1,981,976	4.2	—	0.8	3.4	—
フランス	41,000	33,237	4,809,805	10.2	—	7.9	0.8	1.5
オランダ	6,000	5,224	756,063	1.6	—	1.6	—	—
スペイン	23,900	22,242	3,218,765	6.8	—	4.8	2.0	—
ベルギー	9,600	8,581	1,241,853	2.6	—	2.6	—	—
アイルランド	700	640	92,642	0.2	—	0.2	—	—
イギリス	千イギリスポンド 14,400	千イギリスポンド 9,815	1,652,118	3.5	—	2.4	—	1.1
スウェーデン	千スウェーデンクローネ 12,500	千スウェーデンクローネ 11,898	158,731	0.3	—	0.2	0.2	—
ノルウェー	千ノルウェークローネ 12,000	千ノルウェークローネ 11,386	158,495	0.3	—	0.1	0.2	—
ポーランド	千ポーランドズロチ 7,700	千ポーランドズロチ 6,680	206,517	0.4	—	0.2	0.1	0.1
オーストラリア	千オーストラリアドル 13,200	千オーストラリアドル 8,643	804,266	1.7	—	1.7	—	—
シンガポール	千シンガポールドル 17,100	千シンガポールドル 15,962	1,605,496	3.4	—	3.2	0.2	—
マレーシア	千マレーシアリンギット 9,600	千マレーシアリンギット 9,776	300,718	0.6	—	0.4	0.2	—
中国	千中国元 10,000	千中国元 10,062	196,065	0.4	—	0.4	—	—
イスラエル	千イスラエルシェケル 5,000	千イスラエルシェケル 4,307	171,330	0.4	—	0.4	—	—
合 計	—	—	44,303,553	94.0	—	55.5	22.3	16.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当 期 額面金額	期 末 評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
							千アメリカドル
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円		
	国債証券	0.125 T-NOTE 230915	0.125	13,000	12,571	1,703,167	2023/9/15
		1.625 T-NOTE 260215	1.625	17,000	15,857	2,148,416	2026/2/15
		1.75 T-NOTE 230515	1.75	7,000	6,917	937,154	2023/5/15
		1.875 T-NOTE 290228	1.875	14,000	12,669	1,716,457	2029/2/28
		2 T-BOND 500215	2.0	500	362	49,161	2050/2/15
		2 T-NOTE 250815	2.0	19,000	18,035	2,443,503	2025/8/15
		2.75 T-NOTE 240215	2.75	13,500	13,215	1,790,399	2024/2/15
		2.875 T-BOND 490515	2.875	200	175	23,721	2049/5/15
		2.875 T-BOND 520515	2.875	7,800	6,849	927,953	2052/5/15
		2.875 T-NOTE 280815	2.875	20,000	19,210	2,602,591	2028/8/15
		2.875 T-NOTE 320515	2.875	5,000	4,759	644,853	2032/5/15
		3.125 T-BOND 430215	3.125	7,500	6,818	923,837	2043/2/15
		3.125 T-BOND 440815	3.125	2,000	1,810	245,250	2044/8/15
		3.25 T-BOND 420515	3.25	500	465	63,109	2042/5/15
		3.875 T-BOND 400815	3.875	2,000	2,065	279,861	2040/8/15
		4.125 T-NOTE 270930	4.125	5,000	5,100	691,027	2027/9/30
		4.25 T-NOTE 240930	4.25	10,000	9,986	1,353,000	2024/9/30
		4.75 T-BOND 410215	4.75	5,000	5,753	779,539	2041/2/15
	特殊債券	0.875 IBRD 300514	0.875	10,000	8,175	1,107,649	2030/5/14
	普通社債券	7 IBM CORP 251030	7.0	1,000	1,067	144,613	2025/10/30
小	計					20,575,269	
カナダ			千カナダドル	千カナダドル			
	国債証券	0.25 CAN GOVT 230201	0.25	4,400	4,378	438,022	2023/2/1
		1.5 CAN GOVT 260601	1.5	400	378	37,877	2026/6/1
		2 CAN GOVT 280601	2.0	700	672	67,280	2028/6/1
		2 CAN GOVT 511201	2.0	3,400	2,822	282,397	2051/12/1
		2.25 CAN GOVT 290601	2.25	2,000	1,938	193,975	2029/6/1
小	計					1,019,553	
メキシコ			千メキシコペソ	千メキシコペソ			
	国債証券	10 MEXICAN BONOS 241205	10.0	15,000	15,113	104,305	2024/12/5
		7.5 MEXICAN BONOS 270603	7.5	110,000	105,440	727,697	2027/6/3
		7.75 MEXICAN BONO 310529	7.75	95,000	89,281	616,172	2031/5/29
		8.5 MEXICAN BONOS 290531	8.5	95,000	94,097	649,413	2029/5/31
		8.5 MEXICAN BONOS 381118	8.5	20,000	19,227	132,699	2038/11/18
小	計					2,230,289	
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
ドイツ	国債証券	0 BUND 520815	—	1,000	598	86,619	2052/8/15
		0 OBL 270416	—	7,000	6,447	933,080	2027/4/16
		3.25 BUND 420704	3.25	12,000	14,538	2,103,894	2042/7/4
イタリア	国債証券	0 ITALY GOVT 260401	—	12,300	11,137	1,611,654	2026/4/1
		0.25 ITALY GOVT 280315	0.25	1,500	1,280	185,257	2028/3/15
		1.7 ITALY GOVT 510901	1.7	2,000	1,278	185,064	2051/9/1
フランス	国債証券	0 O.A.T 240225	—	5,000	4,874	705,367	2024/2/25
		0 O.A.T 270225	—	3,000	2,746	397,415	2027/2/25

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
フランス	国債証券	0 O. A. T 291125	—	5,000	4,297	621,894	2029/11/25
		0 O. A. T 320525	—	14,000	11,224	1,624,333	2032/5/25
		0.75 O. A. T 520525	0.75	8,000	5,024	727,116	2052/5/25
		1.25 O. A. T 360525	1.25	6,000	5,069	733,677	2036/5/25
オランダ	国債証券	0.25 NETH GOVT 290715	0.25	3,000	2,660	385,012	2029/7/15
		0.5 NETH GOVT 320715	0.5	3,000	2,564	371,050	2032/7/15
スペイン	国債証券	0.8 SPAIN GOVT 290730	0.8	9,000	7,984	1,155,365	2029/7/30
		1 SPAIN GOVT 501031	1.0	2,500	1,498	216,801	2050/10/31
		1.95 SPAIN GOVT 260430	1.95	1,000	986	142,726	2026/4/30
		2.35 SPAIN GOVT 330730	2.35	6,000	5,668	820,357	2033/7/30
		4.9 SPAIN GOVT 400730	4.9	400	491	71,128	2040/7/30
5.9 SPAIN GOVT 260730	5.9	5,000	5,613	812,385	2026/7/30		
ベルギー	国債証券	0.9 BEL GOVT 290622	0.9	2,800	2,575	372,763	2029/6/22
		1 BEL GOVT 310622	1.0	6,000	5,364	776,267	2031/6/22
		1.6 BEL GOVT 470622	1.6	400	320	46,362	2047/6/22
		1.7 BEL GOVT 500622	1.7	400	321	46,460	2050/6/22
アイルランド	国債証券	1.1 IRISH GOVT 290515	1.1	600	560	81,130	2029/5/15
		1.5 IRISH GOVT 500515	1.5	100	79	11,512	2050/5/15
小 計						15,224,701	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	1 GILT 240422	1.0	3,100	3,001	505,135	2024/4/22
		1.25 GILT 411022	1.25	1,300	865	145,740	2041/10/22
		1.25 GILT 510731	1.25	7,400	4,207	708,142	2051/7/31
		1.75 GILT 490122	1.75	2,600	1,741	293,099	2049/1/22
小 計						1,652,118	
スウェーデン				千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ		
	国債証券	0.125 SWD GOVT 310512	0.125	3,000	2,622	34,977	2031/5/12
		1 SWD GOVT 261112	1.0	6,000	5,771	76,997	2026/11/12
		1.75 SWD GOVT 331111	1.75	3,500	3,504	46,755	2033/11/11
小 計						158,731	
ノルウェー				千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ		
	国債証券	1.375 NORWE GOVT 300819	1.375	2,000	1,807	25,157	2030/8/19
		1.5 NORWE GOVT 260219	1.5	8,500	8,163	113,638	2026/2/19
		2.125 NORWE GOVT 320518	2.125	1,500	1,415	19,699	2032/5/18
小 計						158,495	
ポーランド				千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券	2.5 POLAND 240425	2.5	2,200	2,086	64,492	2024/4/25
		2.75 POLAND 291025	2.75	3,500	2,806	86,769	2029/10/25
		3.75 POLAND 270525	3.75	2,000	1,787	55,254	2027/5/25
小 計						206,517	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	1.75 AUST GOVT 510621	1.75	13,200	8,643	804,266	2051/6/21
小 計						804,266	
シンガポール				千シンガポールドル	千シンガポールドル		
	国債証券	1.625 SINGAPOREGOV 310701	1.625	10,500	9,426	948,115	2031/7/1

銘柄	当 期 末					
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
シンガポール	%	千シンガポールドル	千シンガポールドル	千円		
国債証券	2.375 SINGAPORGOV 250601	2.375	1,000	985	99,121	2025/6/1
	2.75 SINGAPORGOV 460301	2.75	600	605	60,891	2046/3/1
	2.875SINGAPORGOVT 300901	2.875	5,000	4,945	497,368	2030/9/1
小 計					1,605,496	
マレーシア			千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
国債証券	3.885 MALAYSIAGOV 290815	3.885	4,000	3,963	121,933	2029/8/15
	3.9 MALAYSIAGOV 261130	3.9	3,000	3,027	93,114	2026/11/30
	4.935 MALAYSIAGOV 430930	4.935	2,600	2,785	85,670	2043/9/30
小 計					300,718	
中国			千中国元	千中国元		
国債証券	2.89 CHINA GOVT 311118	2.89	8,000	7,988	155,648	2031/11/18
	3.53 CHINA GOVT 511018	3.53	2,000	2,074	40,416	2051/10/18
小 計					196,065	
イスラエル			千イスラエルシェケル	千イスラエルシェケル		
国債証券	1 ISRAEL FIXED BO 300331	1.0	5,000	4,307	171,330	2030/3/31
小 計					171,330	
合 計					44,303,553	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2022年12月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円	%
	44,303,553	93.9
コール・ローン等、その他	2,890,947	6.1
投資信託財産総額	47,194,500	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (47,038,842千円) の投資信託財産総額 (47,194,500千円) に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=135.48円	1 カナダドル=100.04円	1 メキシコペソ=6.9015円	1 ユーロ=144.71円
1 イギリスポンド=168.32円	1 スウェーデンクローネ=13.34円	1 ノルウェークローネ=13.92円	1 ポーランドズロチ=30.9148円
1 オーストラリアドル=93.05円	1 シンガポールドル=100.58円	1 マレーシアリンギット=30.7608円	1 中国元=19.4841円
1 イスラエルシェケル=39.7796円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年12月15日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	47,194,500,124
コール・ローン等	2,630,544,526
公社債(評価額)	44,303,553,691
未収利息	220,377,412
前払費用	40,024,495
(B) 負債	73,016,272
未払解約金	73,015,926
未払利息	346
(C) 純資産総額(A-B)	47,121,483,852
元本	13,852,307,346
次期繰越損益金	33,269,176,506
(D) 受益権総口数	13,852,307,346口
1万口当たり基準価額(C/D)	34,017円

<注記事項>

- ①期首元本額 14,293,258,082円
 期中追加設定元本額 1,263,464,694円
 期中一部解約元本額 1,704,415,430円
 また、1口当たり純資産額は、期末34,017円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ 海外債券オープン	4,591,907,315円
三菱UFJ 海外債券オープン(3ヵ月決算型)	3,484,619,203円
三菱UFJ バランスインカムオープン(毎月決算型)	2,996,490,560円
三菱UFJ 国際 海外債券オープン(適格機関投資家限定)	1,634,047,136円
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	616,128,900円
三菱UFJ 世界バランスファンド 50VA(適格機関投資家限定)	133,556,689円
三菱UFJ ライフプラン 50	68,498,248円
三菱UFJ 海外債券オープンVA(適格機関投資家限定)	49,862,113円
三菱UFJ 世界バランスファンド 25VA(適格機関投資家限定)	37,223,043円
三菱UFJ ライフプラン 25	30,189,995円
三菱UFJ グローバルバランス(積極型)	30,118,675円
三菱UFJ ライフプラン 75	24,834,732円
三菱UFJ グローバルバランス(安定型)	21,312,785円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス 60型	19,998,950円
三菱UFJ ライフプラン 50VA(適格機関投資家限定)	17,674,052円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス 40型	14,688,276円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(安定成長型)	13,183,017円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤーフンド 2040	10,848,627円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤーフンド 2030	10,385,807円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス 20型	8,239,301円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(成長型)	8,105,908円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(安定型)	6,659,624円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(安定型)	6,587,324円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(安定成長型)	4,822,267円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(積極型)	4,142,523円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(成長型)	2,853,768円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)	2,429,924円
三菱UFJ ターゲット・イヤーフンド 2030	1,025,947円
三菱UFJ ターゲット・イヤーフンド 2040	945,763円
三菱UFJ グローバルバランスVA	926,874円
合計	13,852,307,346円

○損益の状況 (2021年12月16日~2022年12月15日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	994,587,985
受取利息	996,433,026
その他収益金	14,145
支払利息	△ 1,859,186
(B) 有価証券売買損益	△ 405,216,891
売買益	8,199,969,267
売買損	△ 8,605,186,158
(C) 保管費用等	△ 10,266,874
(D) 当期損益金(A+B+C)	579,104,220
(E) 前期繰越損益金	33,810,920,982
(F) 追加信託差損益金	3,000,471,302
(G) 解約差損益金	△ 4,121,319,998
(H) 計(D+E+F+G)	33,269,176,506
次期繰越損益金(H)	33,269,176,506

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。